

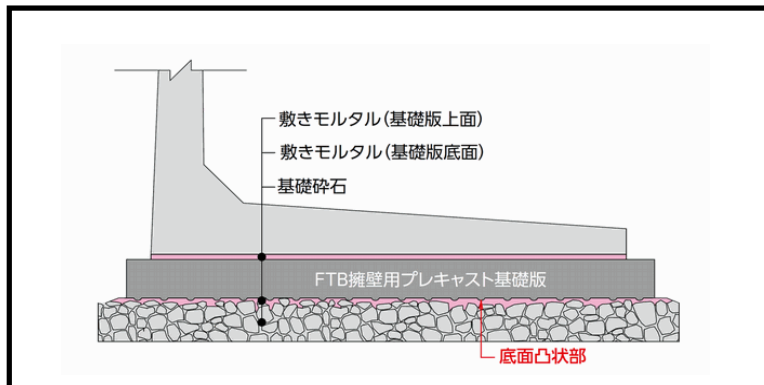
技術概要書（様式）

※別紙2

技術分類	☒ 安全・防災 ☐ 維持管理 ☐ 環境 ☐ コスト ☐ ICT ☐ 品質 （該当する分類に○を付けてください）																							
技術名称	F T B擁壁用プレキャスト基礎版 <土留め構造物の急速施工のための滑動確保技術>	担当部署	技術営業部																					
NETIS登録番号	未登録（申請中）	担当者	湯田晋市																					
社名等	有徳コンクリート株式会社	電話番号	0957-72-5004																					
技術の概要	1. 技術開発の背景及び契機 ・プレキャスト擁壁等と基礎地盤との摩擦力を確保するために広く用いられている現場打ち基礎コンクリートには、「固まるまで時間がかかって急速施工に適さない」という課題があり、また、従来のプレキャスト基礎版には、「摩擦力の低下によって、上部に計画するプレキャスト擁壁等の底版幅を広く変更（型枠の大幅な改造が必要）しなければならない」という課題があった。 （道路土工 擁壁工指針P69～70） ・特に、幹線道路や生活道路工事においては、施工期間中の現道交通を確保するためだけに、コストを費やさなければならないケースも多く、施工性に優れた新しい工法の開発が望まれていた。 2. 技術の内容 基礎版底面に凸状部を施しており、この凸状部と敷きモルタルおよび基礎碎石（または岩盤）の効果によって、現場打ち基礎コンクリート同等の摩擦係数（$\mu = 0.6$以上）を設置直後から確保できる。 上記の特徴を活用し、施工時間帯の調整と急速施工を行うことにより、施工条件（制約）等の課題解決を図る。 3. 技術の効果 ・短スパンに分けて掘削～埋戻しまでの一連の施工を行うことで、作業時以外の交通開放が可能となる。 ・各地で使用されているプレキャスト擁壁等の底版幅を広く変更することなく、規格品をそのまま使用できる。 ・迅速な施工（埋戻し）を行うことで、仮設工の縮減ならびに掘削地山の崩壊リスクが低減できる。 ・設計・施工上の課題を、省力化工法（プレキャストL型擁壁等）で解決させる。 4. 技術の適用範囲 ・基礎版上に計画するプレキャスト擁壁等の高さ（全体高さ）が5m以下。 ・基礎地盤が岩盤・礫層・砂質土地盤。 5. 活用実績 <table border="0"> <tr> <td>国の機関</td> <td>0 件</td> <td>（九州</td> <td>0件</td> <td>、九州以外</td> <td>0件</td> <td>）</td> </tr> <tr> <td>自治体</td> <td>9 件</td> <td>（九州</td> <td>9件</td> <td>、九州以外</td> <td>0件</td> <td>）</td> </tr> <tr> <td>民間</td> <td>0 件</td> <td>（九州</td> <td>0件</td> <td>、九州以外</td> <td>0件</td> <td>）</td> </tr> </table>			国の機関	0 件	（九州	0件	、九州以外	0件	）	自治体	9 件	（九州	9件	、九州以外	0件	）	民間	0 件	（九州	0件	、九州以外	0件	）
国の機関	0 件	（九州	0件	、九州以外	0件	）																		
自治体	9 件	（九州	9件	、九州以外	0件	）																		
民間	0 件	（九州	0件	、九州以外	0件	）																		

6. 写真・図・表

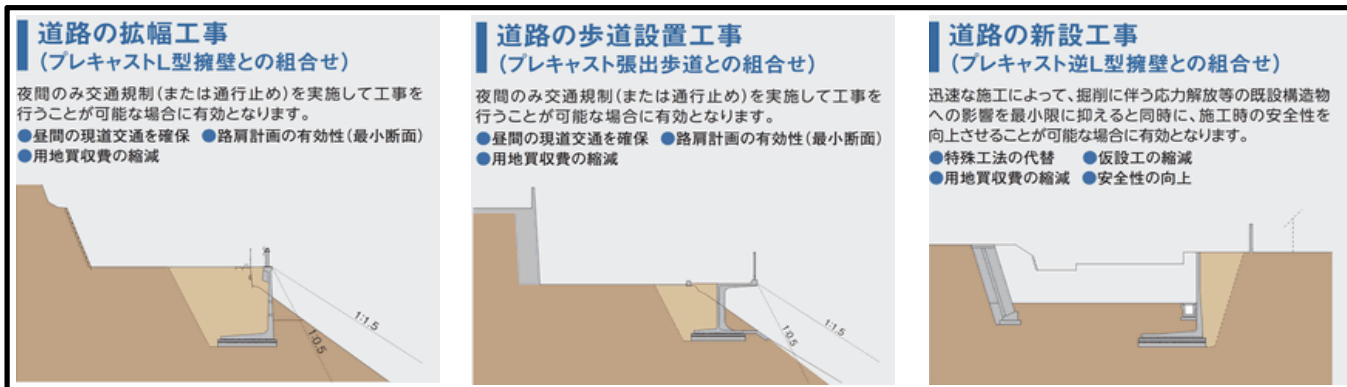
【技術概要図】



【性能確認】



【活用の提案】



【短スパンに分けての急速施工（通行規制→床掘→基礎版設置→L型擁壁設置→埋戻し→通行規制解除）】

